

## ねりま健育会病院 奥川 祐介

**功 績** 当院の近隣の住民が意識不明の状態で見つかることが発覚し、当院へ救命処置要請があった際に、率先して行動し、AEDの処置を行うなど、尽力し救命処置へ貢献した功績。彼の貢献もあり、発見時は発見時は脈がなかった状態から、脈のある状態へ改善し救急車へ搬送。この行動に対して、石神井消防署から表彰された功績。

**推 薦 者** 二瓶 太志

**推 薦 理 由** リハ助手という立場ですが、医療従事者として率先して救命処置に参加してくれました。しかも奥川さんは社会人1年目のスタッフであり、新人にもかかわらず、強い使命感を持って、今回の事態に対して行動してくれました。また、医療従事者としての意識も高く、万が一のことを想定し、入職時研修でのAEDの設置位置を把握していたことはもちろんのこと、自らAEDの講習を何度か受講しておりました。医療安全に対する大変意識が高く、他のスタッフの見本となるものと感じております。

### 内 容

---

5月28日、13時すぎ、当施設付近で意識不明で倒れている人がいると、住民が助けを求めてきました。老健事務所にいた野口事務長が話をうけ、野口事務長が隣のリハビリテーション室の受付にいたリハ助手の奥川さんにも状況を伝え、協力を求められました。その際、AED実施の必要性の説明がありました。奥川リハ助手は1年目で入職してからまだ2ヵ月弱の状況でしたが、入職時の新人研修にてAEDの所在を学んでいたため、要請に対して迅速にAEDを取りに行くことができ、現場へ運ぶことができました。

現場に到着した際、奥川リハ助手は率先して脈がないことを確認し、心停止している状況と判断し、AEDを実施しました。彼は、医療従事者を目指すにあたり、自ら進んで過去に何度かAEDの講習会を受講しており、AEDの使用方法を把握しており、今回もスムーズに使用することができました。

その約5分後に、当院の大角Drや看護師が駆けつけ、必要な応急処置を施しました。奥川リハ助手も指示に従い、応急処置や現場の安全確認などの可能な協力を進んで行いました。

奥川リハ助手の救命処置と、その後の応急処置により、発見当時は脈がない状態でしたが、脈の再開を認めることができ、その後到着した救急車へ搬送することができました。

7月9日、石神井消防署から、今回の奥川リハ助手の行動に対して、感謝状を頂くことができました。